

和歌山県 資料提供

令和6年9月10日

知らないオドロキが色々々々



和歌山県立医科大学の第3期中期目標期間における業務実績に関する評価結果について

和歌山県公立大学法人評価委員会（知事の附属機関、委員長 辻 省次）が行った、公立大学法人和歌山県立医科大学に係る「第3期中期目標期間における業務実績に関する評価結果（平成30～令和5事業年度）」を地方独立行政法人法に基づき公表します。
なお、全体の評価並びに主な評価及び指摘事項は別紙のとおりです。

※詳細は和歌山県福祉保健部健康局医務課のHP
(<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/050100/imuka/hyoukaiinkai.html>) をご確認ください。

（連絡先）

福祉保健部健康局医務課公立大学法人班
担当：佐藤、中西
電話：073-441-2085
内線：2084

1 全体評価

第3期中期目標・計画（平成30年度～令和5年度）を概ね達成している。

中期計画の構成	第1	教育研究等の質の向上	<中期計画記載114項目の実施状況> 12項目：中期計画を上回って実施している 100項目：中期計画を十分に実施している 2項目：中期計画を十分には実施していない
	第2	地域貢献	
	第3	業務運営の改善及び効率化	
	第4	財務内容の改善	
	第5	自己点検・評価及び情報提供	
	第6	その他業務運営	

2 主な評価及び指摘事項

<評価事項>

- 教育 ○ 令和3年度に薬学部を開学するとともに、大学院医学研究科を発展的に改組した医薬統合型大学院である大学院医学薬学総合研究科の設置に関する取組を推進し、令和5年度に文部科学大臣から設置が認可され、令和6年度に開設することが決定した。
- 研究 ○ 令和元年度に先端医学研究所に「分子病態解析研究部」を開設するとともに、3学部連携による共同研究拠点として「次世代医療研究センター」を令和3年度に設置するなど研究実施体制の整備を推進した。
- 診療 ○ 令和4年度に感染症専門医認定研修施設の認定を受けるとともに、感染制御学講座を開設した。更にコロナ対策では、院内感染対策を行うとともに、地域のクラスター発生施設等への訪問指導を実施し、地域における感染制御の質向上に貢献した。
- 地域貢献 ○ 和歌山県において初めての総合診療専門研修プログラムの運用を令和2年度より開始し、紀北分院を基幹病院とした総合診療専門医の研修を行った結果、本計画期間中に和歌山県初の総合診療専門医を2名輩出した。

<指摘事項>

- 教育 ● 令和5年度までの大学院医学研究科では入学者が定員を下回る状況が続いていたことから、令和6年度に開設された医学薬学総合研究科では入学者確保につながる抜本的な対策を検討されたい。
- 研究 ● 研究基盤を活性化するために、研究体制・環境の充実を図るとともに、各教室等における研究業績の評価に向けた具体的な取組を検討されたい。
- 地域貢献 ● 県内の安定した医療提供体制を堅持するため、医師の地域偏在、診療科偏在の解消に向け、地域医療機関からの医師派遣要請に対して大学内で一元的に取りまとめ、適正な医師派遣を実施する体制を構築するなど、関係機関と連携のうえ、更なる対策を講じられたい。

【評価委員会 委員】（任期）令和6年4月1日～令和8年3月31日

氏名	役職等（◎委員長、敬称略）
◎辻 省次	国際医療福祉大学大学院・医学部教授
今中 雄一	京都大学大学院医学研究科医療経済学分野教授
阪越 信雄	紀南病院病院長
坂本 すが	東京医療保健大学副学長、公益財団法人日本看護協会前会長
瀬戸 嗣郎	静岡県立こども病院名誉院長・参与、市立岸和田市民病院顧問
三木 義男	筑波大学客員教授